

下水道の日普及促進展'09

～いろいろコンクールを開催しました～



マンホールのふたはどうして丸いの？

当日は、市内の小中学生の皆さんが応募してくれた「下水道に関する書道・ポスター・標語・作文」の作品、本物のマンホールやマンホールのふた、家の周りの下水管の模型を展示しました。

説明する職員から「マンホールのふたはどうして丸い形なのでしょう？」という出題には、参加した小学生に「丸い形は下に落ちないから」とあっさりと答えられてしまうシーンも…。

参加した子どもたちは、興味津々で下水管の模型をの

ぞきこみ、職員の説明を聞いていました。

また、恒例となった処理場の施設見学をはじめ、地下の探検など、多くの方でにぎわいました。



書道・ポスター展示の様子



ママ～、早くおむつ交換してよ！

これまで、市役所において、赤ちゃん連れのお客様には、おむつを交換する場所がなく、大変不自由をおかけしました。こうした事情を踏まえ、9月15日、市役所（両庁舎1階）の多目的トイレ内に、トイレの壁面を利用したベビーシート（おむつ交換台）を設置しました。市では、来庁された方々にご不便をかけることが、より少なくなるよう取り組んでまいります。

赤ちゃんと一緒にでも大丈夫
市庁舎にベビーシート



代表の中島さん（左）から寄付を受ける飯島市長（右）。後列は従業員の皆さん

美容室「プレミアムヘアー・クラウディット（古川）」の代表、中島督仁さんと従業員の皆さんが、みらいフェスタ2009（市商工会青年部主催）に出店した際の売上金を、市に対してチャリティー金として寄付してくださいました。

中島さんからは、「安心して暮らせるまちづくりのために、役立ててほしい」と飯島市長に手渡されました。

同美容室からは以前より、ご寄付をいただいています。

善意の寄付を
いただきました

梨を食べて、事故ナシに

～街頭交通安全キャンペーン～

秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）の一環として、運転手へ安全運転啓発を行うため、9月18日、玉台橋交差点（小絹）において、街頭交通安全キャンペーンを行いました。



「安全運転」を呼びかける飯島市長

当日は、『やさしさが走るこの街 この道路』というスローガンのもと、地元警察をはじめ、さまざまな団体の皆さん約50人が、ドライバーに「速度の出すぎに注意しましょう」「安全運転をお願いします」「気をつけて行ってらっしゃい」と思い思いに声を掛けながら、事故ナシにかけた、本市産の梨をドライバーに配りました。

朝の通勤時間ということもあり、あっという間に用意した啓発品はなくなりました。



「安全運転で行ってらっしゃい」

交通事故は、皆さん一人ひとりが、交通ルールを正しく守り、注意することで、未然に防ぐことが可能です。

これからも、思いやりの気持ちでゆとりをもって、安全運転を心がけましょう。